

様式1

授業科目 検査測定評価学

科目コード番号

【担当教員名】 小林量作	対象学年	2	対象学科	理学
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【概要及び学習目標】

<概略>

障害を正確に認識する手段としての検査測定および評価は、理学療法を進める上で重要なプロセスである。つまり理学療法評価は、患者の総合的な情報収集であり、正確な検査測定、評価を通じて、はじめて適切な目標設定と治療プログラムが導かれる。本授業では「検査測定評価学」の基礎的な知識を学習する。

<学習目標>

- ①理学療法検査測定の基礎知識を理解する。
- ②各種検査測定実施で必要とする知識を理解する。
- ③検査測定結果から障害像をイメージできるよう、情報の統合・評価を行える。

回数	学習の主題	学習内容	学習方法
1	総論	評価学の目的、評価から問題点抽出、目標設定、プログラム立案までの過程について学ぶ。	講義
2	身体計測	周径、四肢長の測定方法について学ぶ。	〃
3	関節可動域検査 総論	定義、目的、基本肢位、関節可動域表示法について学ぶ。	〃
4	〃 上肢・下肢		〃
5	〃 体幹、手指		〃
6	筋力検査 総論	定義、目的、種類、各関節の徒手筋力検査法について学ぶ	〃
7	〃 上肢		〃
8	〃 下肢		〃
9	〃 体幹		〃
10	〃 手指、顔面体幹		〃
11	感覚・反射・脳神経検査	総論、感覚の種類、その検査法について学ぶ。	〃
12	〃	腱反射、病的反射、脳神経の検査法について学ぶ。	〃
13	協調性検査、筋緊張検査	協調性障害の内容とその検査法について学ぶ。	〃
14	姿勢・動作分析	姿勢とは、姿勢の分類について学ぶ。	〃

【評価方法】

出席、小試験、定期試験

【履修上の留意点】

- ①1年生で学んだ骨、筋肉、神経支配などの解剖学知識を基礎とするので、復習を必要とする。
- ②学習内容が多いので、予習を前提に授業を進める。

【使用図書】

教科書・参考書等	書名等	著者名	発行所	発行年・価格・その他
教科書	理学療法評価法	松澤 正 著	金原出版	1998年 6,200円
	新・徒手筋力検査法 (訳本)	津山直一 訳	協同医書	1996年 6,695円
	ベッドサイドの神経の診方	田崎義昭・他著	南山堂	1994年 7,200円+税
参考書	Muscle Testing and Function(4th)	F.P Kendall	Williams & Wilkins	1993年 10,658
	理学療法評価学	内山 靖 編	医学書院	2001年 5,800円
その他 (プリント等)				